

仏教婦人会総連盟が総会 白洲で地震義援金募る



仏教婦人会総連盟（片山みどり会長）の平成28年度総会が4月18日、全国から組の代表524人が参加して本山・御影堂で開かれた。

総会では片山会長がスローガン「念仏に生かされるよろこびを行

動へ」に沿って新年度の活動方針や事業計画を説明。10月からの伝灯奉告法要の参拝奨励を新たな重点目標に加え、来年4月4日を総連盟参拝日と定めて広く参拝を呼びかけることにした。また、組織

拡充の一環としてホームページを開設、休会単位会に再開をはたらきかけるほか、ターナ献金の交付先にあそかビハラー病院（京都府城陽市）を加えたことなどを報告した。

総連盟総裁の大谷流豆美お裏方は開会式で熊本地震に哀悼とお見舞いの言葉を述べられた。白洲では総連盟評議員が熊本地震災害義援金への協力を呼びかけ（写真）、29万8622円が寄せられた。